



セキュリティ対策自己宣言

情報セキュリティ基本方針

RS パートナー株式会社（以下、当社）は、お客様との信頼関係を事業の根幹と捉え、その信頼に応えることを最も重要な使命としております。この使命を果たすため、お客様からお預かりした情報資産をはじめ、当社の事業活動に関わる全ての情報をあらゆる脅威から保護することが不可欠です。よって、ここに「情報セキュリティ基本方針」を定め、従業員一同、本方針を遵守し、情報セキュリティの確保に真摯に取り組むことを宣言します。

1. 代表取締役の責任

代表取締役は、情報セキュリティの確保が経営における最重要課題の一つであることを認識し、率先して当社の情報セキュリティ体制の構築を主導します。
また、情報セキュリティ対策の維持および改善に必要な資源を確保します。

2. 社内体制の整備

当社は、代表取締役を最高責任者とする情報セキュリティ管理体制を確立します。
情報セキュリティに関する社内規程を整備し、全従業員の役割と責任を明確にすることで、実効性のある対策を推進します。

3. 従業員の取組み

当社の全従業員は、情報セキュリティの重要性を深く認識し、本基本方針および社内規程を誠実に遵守します。
また、情報資産を適切に取り扱うために必要な知識と技術の習得に努めます。

4. 法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、事業活動で利用する情報資産に関連する法令、指針、その他の規範、ならびに取引先等との契約において定められた要求事項（遵守すべき法令や、契約書等で定められた内容）を特定し、これを遵守します。

5. 違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関する事故および違反の発生予防に努めます。
万が一、問題が発生した場合には、迅速に原因を究明し、被害を最小限に抑えるための適切な措置を講じるとともに、再発防止策を徹底します。

6. 個人情報の保護

当社は、お客様の個人情報を最重要の情報資産の一つとして位置づけ、その保護を極めて重要な責務と認識しています。
そのため「プライバシーポリシー」を別途に定め、これに基づき個人情報を厳格に管理・保護します。

7. 委託先の管理

当社は、業務の一部を外部へ委託する際、委託先の適格性を十分に審査します。
契約において、当社と同等以上の情報セキュリティレベルを求めるとともに、委託先における情報資産の管理状況を定期的に確認し、適切な監督を実施します。

8. 情報資産の管理

当社は、保有する全ての情報資産をその重要性に応じて適切に分類し、管理します。
情報の漏えい、改ざん、紛失といったリスクから情報資産を保護するため、組織的・人的・物理的・技術的な観点から必要なセキュリティ対策を講じます。

制定日:2025 年 2 月 17 日
RS パートナー株式会社 代表
取締役 松山 厚生